

日形地区

第二期地域づくり計画書

『令和 3 年 4 月～令和 8 年 3 月』



令和 3 年 3 月
日花里の郷日形

日形地区地域づくり計画書 目 次

はじめに	・ ・ ・	P 1
第 1 章 地区の概要	・ ・ ・	P 2
1 地理と概況		
(1) 位置・概況		
(2) 面積		
2 世帯数・人口の推移	・ ・ ・	P 3
(1) 行政区別・男女別人口		
(2) 行政区別・年齢別人口		
第 2 章 地域協働体「日花里の郷日形」活動経過	・ ・ ・	P 4
1 設立に至る経過		
2 設立までの経過	・ ・ ・	P 5
3 第一期地域づくり計画に基づく活動	・ ・ ・	P 6
第 3 章 地域づくり計画	・ ・ ・	P 7
1 地域づくりの方針		
2 地域づくり計画		
3 地域の課題		
4 計画の推進	・ ・ ・	P 8
第二期地域づくり計画書(計画詳細表)		
A 地域振興	・ ・ ・	P 9 ・ ①
B 生活環境	・ ・ ・	P 9 ・ ②
C 福祉健康	・ ・ ・	P 9 ・ ③
令和 3 年 4 月～日花里の郷日形 役員・委員名簿		
役員	・ ・ ・	P 10
委員	・ ・ ・	P 11
日花里の郷日形規約	・ ・ ・	P 12 ・ ①
日花里の郷日形役員規定	・ ・ ・	P 12 ・ ②
日形市民センター管理運営規定	・ ・ ・	P 12 ・ ③

はじめに



時代は平成から令和へと変わり、誰しものが新時代へ希望の夢を託し歩み始めた 1 年後予期せぬ「コロナ禍」問題に直面し、今もコロナ感染症の出口が見えず苦慮しているところです。

日形地区を取り巻く環境は、少子高齢化による人口減少が急激に進み深刻な事態に陥っております。

日形地区に雇用の方が少ないことから、若い世代は仕事を求め他に移り住み、高齢者のみが残されるという状況も危惧されます。

このような状況下にあります、「明るく豊かで住みよい地域」づくりを、地区民が協働して一つのテーマに取り組んで行くことが、地域の維持発展に繋がるものと思います。

第 1 期地域づくり計画 4 年目の平成 31 年（令和元年）に、地域協働体日花里の郷日形は一関市から「日形市民センター」の指定管理者として管理運営業務を受託したことで、地域づくり計画に基づく地域協働体の活動に加え、市民センター業務も担っていく事になりました。

令和 3 年 4 月から第 2 期地域づくり計画に基づき、地域住民・役員の皆様のあらゆる角度から見たご意見を頂き修正をしながら進めて参る所存であります。日形地区住民の更なる発展を祈念致し、巻頭の挨拶と致します。

令和 3 年 3 月

日花里の郷日形

会 長 千 葉 輝 雄

第1章 地区の概要

1 地理と概況

(1) 位置・概況

日形地区は北上川に沿って南北に細長く、北上川を挟んで東は藤沢町に接し、まわりを取り囲む山々は、高い所でも標高百メートルと低く、穏やかな気候と自然に恵まれた農村地帯です。

日形地区の先人たちは、縄文の昔から肥沃な土地を耕し、舟運に栄えた北上川と共に生き、関わり、歴史・文化の発展に多大な貢献を果たしてきました。

現在は、明治38年に岩手県内で第二番目といわれる圃場整備が行われた水田が、平成20年から始まった基盤整備事業で5反歩区画に整備され、営農組合も設立し、農業の新たな姿の出発となりました。

また、北上川狭隘治水対策事業に伴う下清水集落と沼田集落の移転や、少子高齢化による小学校統合など、地域環境の急激な変化による地域課題の解決に向けて、地域住民が英知を結集していく重要な時期となっております。

(2) 面積

日形地区	17.21 km ²	花泉町	131.05 km ²
------	-----------------------	-----	------------------------

2 世帯数・人口の推移

時 期	世帯数 (戸)	人口 (人)	日形小学校の生徒数
昭和30年 花泉町と合併時	359	2,257	8学級 332名
平成17年 一関市と合併時	301	1,033	8学級 45名
平成27年 老松小へ編入	264	782	複式3学級 12名 (H27.3.31 閉校時)
令和3年1月 現 在	260	679	老松小学校 (日形地区) 18名

(1) 行政区別・男女別人口

住民基本台帳 令和3年1月31日現在 (人)

行政区	世帯数	男	女	合 計
1 区	19	23	26	49
2 区	79	88	92	180
3 区	49	67	71	138
4－1 区	38	51	51	102
4－2 区	28	40	37	77
5 区	30	47	35	82
6 区	17	22	29	51
合 計	260	338	341	679

(2) 行政区別・年齢別人口

(歳・人)

行政区	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49
1 区	3	4	1	3	5
2 区	5	8	8	7	30
3 区	6	12	7	8	17
4－1 区	0	4	6	5	13
4－2 区	5	5	5	7	7
5 区	2	2	4	5	8
6 区	3	2	1	9	0

行政区	50～59	60～69	70～79	80～89	90～100
1 区	10	6	3	12	2
2 区	20	33	35	23	11
3 区	19	24	17	20	8
4－1 区	10	24	22	15	3
4－2 区	8	14	18	6	2
5 区	11	16	12	18	4
6 区	6	9	11	9	1

第2章 地域協働体「日花里の郷日形」活動経過

1. 設立に至る経緯

◎平成24年度

公民館運営審議会・集落公民館長合会議にて、「協働のまちづくりの事業運営と各種団体の組織強化に併せ、まちづくり懇談会を各集落単位に実施。

年間事業推進にあたり、団体育成関連で改善出来る地域づくりの取り組みを進め意思統一を図った。

○第2次集中改革プラン（H23～27）の理解

○組織・事務事業の見直し ○社会教育登録団体の自主運営

○高齢者活動拠点の設置 ○学級の統合（高齢者・人・婦人）

◎平成25年度

将来的な地域協働体の設立を想定、その前身として「日形まつり実行委員会」を設立し。夏祭り・秋祭りの開催等を中心に、いちのせき元気な地域づくり事業への協力、地区の街づくり学習会の開催等の活動を展開した。

実行委員会の構成メンバーは、行政区長・集落公民館長・各種団体の代表者となっている。

◎平成26年度

「日形まつり実行委員会」は、夏祭り・秋祭りの開催等の活動を行い、日形地域協働体の設立を推進する為、設立準備会の役割と地域協働体設立準備会議を開催。規約・組織等の協議結果をもとに集落説明会を開催し、出された意見等を取入れ規約・組織体制を確定し、設立総会を経て設立された。

設立年月日 平成27年2月25日

名 称 日花里の郷日形

組 織 体 制 次ページのとおり

2. 設立～第一期地域づくり計画の策定

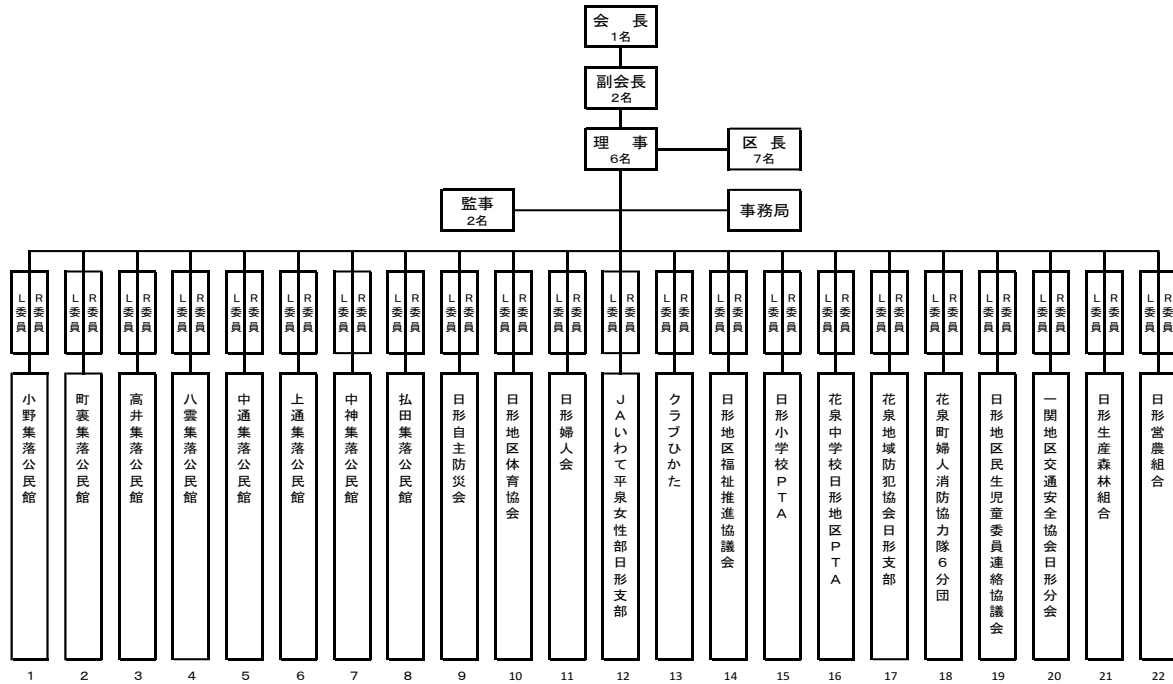
◎平成27年度

○4月1日より事務局員を一人雇用

○地区民に行ったアンケート調査の結果や集落懇談会での声をもとに、計画策定に係る専門委員会議で協議を重ねて5ヵ年計画書にまとめた。

○上記を平成28年3月に策定し、全戸に配布した。

【日花里の郷日形】組織図



(令和 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日組織図)

3.第一期地域づくり計画に基づく活動

◎平成 28 年度～平成 30 年度

- 平成 28 年 4 月 1 日より第一期地域づくり計画活動開始。
- 日花里の郷日形組織 22 構成団体役員、LR 委員 51 名の推進体制。
- 4 つの委員会の中で一人 1～2 委員会に所属し、上期・下期で全体会を開催、年度計画や進捗共有を行うほかは、委員会毎に事業を行う。

【平成 28 年～令和 2 年の主な委員会事業】

- 〈地域振興〉 地域づくり研修、ふるさと公園整備、地場産品づくり、竹の里づくり
- 〈生活環境〉 日形ジャルダン環境整備、日形地区環境整備、花いっぱい運動
- 〈福祉健康〉 高齢者居場所づくり、高齢者ボランティア活動、大人の居場所づくり
俺たちの出番事業、健全育成事業、健康づくり活動
- 〈体育文化〉 地区民交流事業、文化芸能事業

◎令和元年度

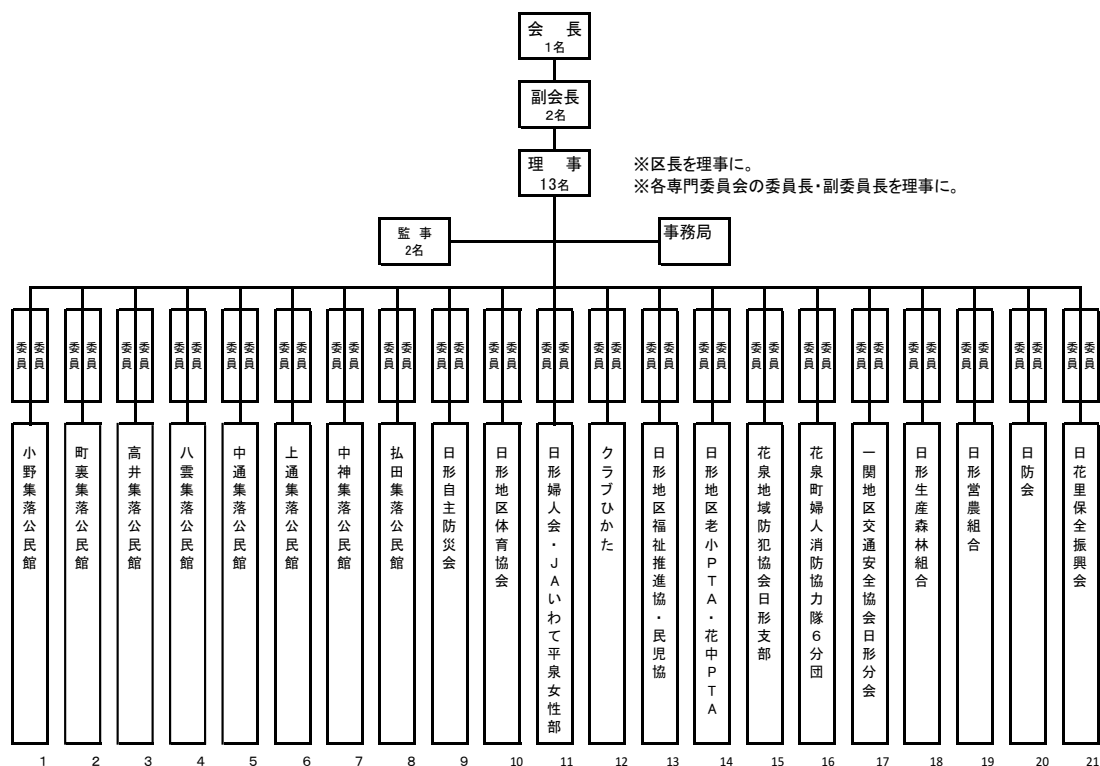
- 4 月 1 日より日形市民センターの指定管理者となり、指定管理業務を担う職員を 4 名雇用。
- 日花里の郷日形の組織に 2 団体(日防会・日花里保全振興会)加入し 24 構成団体・役員・代表・委員 55 名の推進体制になる。

(L・R 委員ではわかりずらく代表委員・委員に変更する)

◎令和 2 年度

- 第一期地域づくり計画の振り返りと第二期地域づくり計画への反映。
- 第二期地域づくり計画作成の為、役員・専門委員会・公民館長集落説明会の開催。
- 第二期地域づくり計画での新体制案の提案
 - ①第一期地域づくり計画の 4 委員会より第二期地域づくり計画は 3 委員会へ集約し一人/1 委員会とする。
 - ②これまで専門委員は全構成団体から 2 名ずつ選出していたが、会員が酷似する団体は構成団体と選出方法を見直す。
(日形婦人会と JA いわて平泉女性部から合わせて 2 名、福祉推進協と民生児童委員から合わせて 2 名、老小日形地区 PTA と花中日形地区 PTA から合わせて 2 名)
 - ③三役は会長 1 名・副会長 2 名・監事 2 名で総会選出とする。
 - ④理事については区長 7 名と 3 つの専門委員会の委員長・副委員長 6 名で構成され、13 名体制とする。

【第二期.日花里の郷日形】組織図



令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日迄の組織図

第3章 地域づくり計画

1 地域づくりの方針

(1) 目的

日形を 明るく豊かで 住みよい地域にする

(2) 目標

- ① 地域の想いに耳を傾ける
- ② 地域の課題を発見し 良くなる方法を見定める
- ③ 住民と一体となる 安全・安心な地域づくり
- ④ いつまでも健康で 生きがいの持てる地域づくり
- ⑤ スポーツを通じ 人と交流する地域づくり
- ⑥ 歴史文化の継承と 学びあう地域づくり

(3) 地域づくりスローガン

地域力をたかめよう 日花里の郷日形

2 地域づくり計画

地域課題の解決や、地域の特性を活かした地域づくりを実施していくため、気軽に話し合う場の設定、意見の集約と地域課題の解決、将来ビジョンを地域で実施するもの、行政に実施提案するもの等を策定し実践していきます。

3 地域の課題

(1) 少子化

少子化により、日形小学校は平成27年3月31日をもって閉校となり老松小学校と統合し141年の歴史に幕を閉じた。学校・地区民合同運動会、春の子どもまつり、クリスマス会を始め、世代間交流の実践継続が厳しい状況である。

(2) 高齢化

高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増え、道路愛護、河川清掃等集落の活動の参加が厳しい状況にある。交流の機会は、月に1度の集落サロンに出席することを楽しむ程度で、日常生活に不安が増している。

(3) 活性化の実現

地域活動の参加者が高齢化になり、核家族化・役員の高齢化・若者の勤務形態の多様化等、世代を超えた交流が難しい状況にある。

(4) コミュニティ確保

組織ごとの連携、地域の多様な団体の横の繋がり、情報と地域課題の共有、地域の特性を活かす事業展開の伸び悩みを感じられる。

4 計画の推進

第一期地域づくり計画の策定にあたっては、地区内の皆様からアンケート調査によりご意見・ご要望をいただき、それらを参考に計画策定に係る専門委員会議で協議を重ね、更に集落説明会等のご意見をまとめ、日形地区の課題解決の方向を整理しました。

第二期地域づくり計画(本計画)は、第一期の活動評価をもとに役員へのアンケートやワークショップ、住民説明会の開催で吸い上げた地域の声を反映させながら、第一期地域づくり計画の内容を見直ししたものです。

日花里の郷日形 役員・委員名簿

令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

役 員

No.	役 員 名	氏 名	備 考
1	会 長		
2	副 会 長		
3	副 会 長		
4	監 事		
5	監 事		
6	1 区長		
7	2 区長		
8	3 区長		
9	4－1 区長		
10	4－2 区長		
11	5 区長		
12	6 区長		
13	理 事		
14	理 事		
15	理 事		
16	理 事		
17	理 事		
18	理 事		

委 員

No.	団 体 名	委 員	委 員
1	小野集落公民館		
2	町裏集落公民館		
3	高井集落公民館		
4	八雲集落公民館		
5	中通集落公民館		
6	上通集落公民館		
7	中神集落公民館		
8	払田集落公民館		
9	日形自主防災会		
10	日形地区体育協会		
11	日形婦人会 J A いわて平泉女性部日形支部		
12	クラブひかた		
13	日形地区 P T A 老松小学校・花泉中学校		
14	花泉地域防犯協会日形支部		
15	花泉婦人消防協力隊 6 分隊		
16	日形地区民生児童委員連絡協議会 日形地区福祉推進協議会		
17	一関地区交通安全協会日形分会		
18	日形生産森林組合		
19	日形営農組合		
20	日防会		
21	日花里保全振興会		